



2022年10月12日

井関農機株式会社
有機米デザイン株式会社
農 研 機 構

有機農業の普及発展に向け水稲用自動抑草ロボット「**アイガモロボ**」の 共同研究を開始

ー井関農機、有機米デザインと農研機構が共同研究ー

井関農機株式会社（本社：愛媛県松山市 代表取締役社長執行役員：冨安司郎 以下「井関農機」）、有機米デザイン株式会社（本社：東京都小金井市 代表取締役：山中大介 以下「有機米デザイン」）、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（本部：茨城県つくば市 理事長：久間和生 以下「農研機構」）の3者は、有機米デザインが開発した自動抑草ロボット「**アイガモロボ**」*（以下「アイガモロボ」）の雑草抑制効果に関する共同研究を実施します。

1.共同研究の背景・目的

有機水稲作においては、雑草防除に要する労力が大きく、省力的な除草技術の開発が求められています。有機米デザインが開発した「アイガモロボ」は、全地球測位システム（GPS）と連動した専用のアプリで移動範囲を設定可能で、自動で水田内を走行しながら、水中を攪拌し地表面の泥を巻き上げます。これにより、地表面の光を遮ることに加えて、沈殿した泥が雑草種子を埋設することで、雑草の発生量を抑制することが期待されています。既に全国各地で行われている実証試験では、「アイガモロボ」のみの除草体系でも有機水稲作の雑草防除に成功した事例が数多く報告されています。しかし、「アイガモロボ」の雑草抑制効果やその抑制メカニズムを科学的に検証した事例は少なく、今後の普及拡大に向けては科学的な知見の集積が必要です。そこで、井関農機においては、有機水稲作圃場への「アイガモロボ」導入を見据え、現地実証データの収集、整理、解析を進めることとし、農研機構西日

本農業研究センターでは、有機米デザインと協同し、雑草抑制効果や雑草抑制メカニズムの解明に取り組み、併せて「アイガモロボ」の活用方法や適用条件を検討します。




2. 主な役割分担

- ・ 井関農機：「アイガモロボ」の現地実証試験並びに実証試験データの収集、整理及び解析
- ・ 有機米デザイン：「アイガモロボ」の提供及び現地実証試験
- ・ 農研機構：「アイガモロボ」の雑草抑制メカニズムの解明及び導入・適用条件の整理

3. 期間

2022 年度～2024 年度

参考

* 「 アイガモロボ」は、有機米デザイン株式会社の登録商標です（登録第 6548552 号）。

お問い合わせ先

井関農機株式会社 IR 広報室 植田・鈴木

Tel : 03-5604-7709 e-mail : isk-info@iseki.co.jp

以 上